

第37回 東京都中学生学年別柔道選手権大会 要項

1. 目的 試合を通して柔道の基本技能、礼法を正しく習得させると共に心身健康にして柔道界の将来を担う中学生の育成と、相互親睦を図ることを大会の目的とする。
2. 主催 公益財団法人 東京都柔道連盟
3. 後援 公益財団法人 講道館・東京都教育委員会・公益財団法人 東京都スポーツ協会(いずれも申請中)
4. 日時 令和8年1月25日(日) 開会式:10時00分
5. 会場 東京武道館 大武道場 〒120-0005 足立区綾瀬 3-20-1 TEL 03(5697)2111

6. 参加資格 (1) 選手は、東京都柔道連盟傘下の「学校」「道場」「クラブ」等に所属し、2025年度の全柔連登録が有効である、中学生とする。
(2) 事故防止のため、修業期間6ヶ月以上の者とする。
(3) 体重区分は、下記のとおりとする。

① 男子

学年	軽量の部	中量の部	重量の部	超重量の部
1年	50kg以下	50kgを超えて55kg以下	55kgを超えて66kg以下	66kg超
2年	55kg以下	55kgを超えて60kg以下	60kgを超えて73kg以下	73kg超
3年	60kg以下	60kgを超えて66kg以下	66kgを超えて81kg以下	81kg超

② 女子

学年	軽量の部	中量の部	重量の部
1年	44kg以下	44kgを超えて52kg以下	52kg超
2年	48kg以下	48kgを超えて57kg以下	57kg超
3年	52kg以下	52kgを超えて63kg以下	63kg超

7. 試合方法 男女別、学年別、体重別のトーナメント戦による。
8. 審判規定 (1) 国際柔道連盟試合審判規定及び国内における「少年大会特別規定」、本大会申合せ事項で行う。
(2) 試合時間は2分間とする。(ただし、準々決勝戦以上の試合は、3分間とする)
(3) 判定の基準は「一本」「技あり」「有効」「僅差」とし、得点差が無く、かつ「指導」差が1以内の場合は旗判定で勝敗を決する。「僅差」とは「指導」差が2をいう。
9. 表彰 各学年男子(4クラス)・女子(3クラス)とも、優勝・準優勝・3位(2名)・敢闘賞(4名)までを表彰する。
ただし、出場選手数により表彰人数を変えることがある。

10. 参加申込 (1) 申込締切 12月22日 (月) 23:59

(2) 申込方法

①全柔連登録システム (以下、「システム」) より大会の申込みを行う。

(手順はシステム内の「大会申込」概要を参照)

- ・所属チーム又は中学校の登録責任者よりまとめて申込みこと (個人での申込みは**不可**)。
- ・システムで申込みを登録後、参加費を納付することで申込手続きは完了する。
- ・申込手続きが完了後、支払い完了メール (申込完了メール) が送られる。

届かなければ問い合わせのこと。

*** 申込手続き完了後の参加費の返金は、いかなる場合でも行わないので留意のこと。**

②参加費 1人 1,000円 (傷害保険加入費用含む) 別途、支払い手数料が発生する。

③申告体重: 男女とも **インナーと柔道衣の下穿きを着用した状態**での体重を申告する。

※ 内容変更の締切後に、学年・体重の誤入力や体重の増減により階級の変更が生じる場合、当該選手は「失格」とする。十分に確認のうえ申込みを行うこと。

④監督: 1名のみとし、エントリー必須

コーチ: 2名までエントリー可

※監督・コーチは「**全柔連公認指導者資格C指導員以上**」または「**学校顧問特例資格**」が**有効**な者とする。有効でない資格での申込みが判明した場合は、チームの出場を認めない。

(3) 申込内容変更の締切 12月24日 (水) 23:59

申込み内容 (区分、学年、身長、体重、欠場等) は下記に従う。

①申込期間中 (～12月22日)

請求書を発行後、「支払方法選択 (コンビニなど)」が

【未済】: 申込者がシステムにて請求書を取消する (支払 > 請求書 > 取消) ⇒ 再度申込み

【済】: 参加費支払い ⇒ 下記②に従う

②申込締切後 (12月23日～24日)

支払い実施後に限り内容変更可能 (選手**追加不可**)。

システムにて、大会申込 > 申込情報変更 により変更可能。 (メール報告**不可**)

③申込内容変更の締切後 (12月25日～)

変更不可 (欠場のみ下記方法で受付け)

11. 欠場	～12月24日 (水)	12月25日 (木) ～1月15日 (木)	1月16日 (金) ～
	上記10 (3) に従う。	メールで受付 moshikomi@tojuren.or.jp ※選手・内容変更は受付けない。	大会当日に 「欠場者受付」に申し出る。

12. 問合せ先 (公財)東京都柔道連盟 事務局

TEL 03-3818-5639 / 03-3818-4246 メール moshikomi@tojuren.or.jp

13. 組み合わせ * 組合せ掲載: 2026年1月上旬 (連盟ホームページ)

14. 保 険 (1) 主催者が、参加者全員に対して傷害保険の加入手続きを行う。
尚、万一の事故発生に備え、参加チームで別途傷害保険等に加入するなどして、万全の事故対策を
たてておくこと。
- (2) 大会中の不慮の負傷、疾病については応急処置を施すとともに、傷害保険の範囲内で責任を負う
ものとする。
- (3) 大会当日、参加者は有効な健康保険証を必ず持参すること。
15. 計 量 ①開会式前の待機時間に全員の計量を各試合場で行う。
②計量は男女ともインナーと柔道衣の下穿きを着用した状態で行う。
申告体重は同様の状態で計った体重とすること。 ※男子：試合中のインナー着用は**不可**
16. そ の 他 (1) 監督・コーチとして帯同する者は、審判員に準じた服装とする。
*男性：スーツ・ネクタイ着用（審判員用ネクタイ不可） 女性：スーツ着用
- (2) 監督の行為・言動について
*試合が止まっている間（「待て」から「始め」）のみ、選手に対して指示を与えることができる。
*次の行為を禁止する。
①試合が続行している最中に指示を出すことや試合中に立ち上がること。
②対戦相手や所属の選手を侮辱する言動。
- (3) 柔道衣
柔道衣および女子のインナーは白色のみとする。
前合わせについては十分な重なりがあるようにする。
認証柔道衣の使用は義務付けない。ただし、製造者マークについては全柔連の規定を遵守すること。
- (4) ゼッケン
①参加選手は、着用する柔道衣に規定の大きさのゼッケンを正しく縫い付けること。
②所属名は申込み団体名または在学中学校名とする。
③ゼッケンを取り付けていない選手は、失格とする。
④ゼッケンの仕様と縫い付け方については以下を目安とする。
a) サイズは横30～35cm・縦25～30cmとする。
b) 布地は白地（晒・太綾）。
c) 書体は太いゴシック体又は明朝体で横書きとし、男子は黒色、女子は濃赤色。
d) 苗字（姓）は上側2/3、所属名は下側1/3。
e) 縫い付けの位置は、後ろ襟から5～10cm下部とし、周囲と対角線に強い糸で縫い付ける。

図1 ゼッケンの縫付方

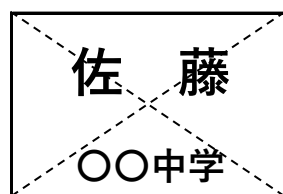
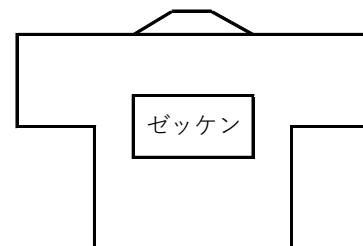


図2 ゼッケンの縫付位置



(5) 脳震盪について

- ① 大会前1か月以内に脳震盪を受傷した者は脳神経外科の治療を受け、出場の許可を得ること。
- ② 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。
なお、至急、専門医（脳神経外科）の精査を受けること。
- ③ 練習の再開に関しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
- ④ 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

(6) 皮膚真菌症（トンスランス感染症）について

発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は大会への出場ができない場合もある。

(7) 個人情報、肖像権の取り扱いについて

下記項目について、申込書の送信をもって了承されたものとし取扱う。

申込時に入力された個人情報・競技結果・大会中に撮影された写真または動画等の映像が、大会プログラム・競技会場内外の掲示板等・都柔連ホームページ・都柔連Facebookに掲載される場合がある。また、その他報道機関等により新聞、雑誌、テレビ及び関連ホームページ等に公開される場合がある。

大会時に撮影する映像を、審判員および指導者の技能向上のための研修会資料として使用する場合がある。